



# ク

## あるじゃ10周年記念 クロスワードに挑戦

提供/道の駅つるた・鶴の里あるじゃ

タテ・ヨコのカギを解いて、A~Eの文字でことばを探してね！  
ヒント 「あと少しで終わりだよ」

1	B	2	18				5
		5					
6					7		D
		8		9			
10	E		11			12	
		13		14			
		15					
16	C			17A			

- 【タテのカギ】**
- 1 孫悟空が空を飛ぶときに使う雲の名前は何？
  - 2 指先が長く伸びたものを切ることをいいます。
  - 3 千と千尋が成長するまでその経過のこと
  - 4 夏休みのレジャーの定番といったら？
  - 5 元アルゼンチン代表のサッカー選手で「神の手」「五人抜き」といえる超有名選手は？
  - 6 何も練習しないで本番に臨むこと
  - 7 12連転中や昼食後に襲ってくるものといえる？
  - 8 15〇〇文明は紀元前から2000年ごろまで中央アメリカのユカタン半島からグアテマラにかけて栄えた高度な都市文明です。
  - 9 サタデーの前日を日本語でいいます。
  - 10 【ヨコのカギ】
  - 11 特別天然記念物「クマゲラ」って何の仲間かな？
  - 12 ほとんどの日本人はお盆になるとどこに行きます？
  - 13 現代風についてイナメメンが好きなのは？
  - 14 自分のアイデアなどの権利を守り、他が勝手に使えない設定をする行政行為
  - 15 筆習い 何と読む？
  - 16 関節などが痛くなり放っておくと骨が曲がり動かなくなってしまう怖い病気
  - 17 〇〇〇に共通するものは？
  - 18 〇〇ね 〇〇へ 〇〇
  - 19 11 宣伝のためによくこれをお店の前で配っていますね
  - 20 12 暑場 家畜や人に付いて蚊やアブより強烈に血を吸うまるで吸血鬼のような虫
  - 21 14 最近、大きな海岸をこのことを〇〇〇〇〇〇とスターといっていますね
  - 22 15 自家用車のこと
  - 23 16 白下神社は鶴の里の何地区にあるかな？
  - 24 17 防波堤にあるテトラポッド(商品名)の正式な名称は〇〇〇〇ブロックといえます。

### 【7月号クロスワードの解答】

1	ツ	ウ	シ	ン	4	ボ	5	サ	6	サ
7	イ	エ	リ	ウ	8	キ	9	タ	10	マ
10	ツ	ボ		11	ガ	ン	12	ダ	13	ー
14	ウ	リ	ン		14	シ	15	タ		
16	ー		15	キ	16	ジ	17	ユ	18	イ
		18A	19	イ	ス		20	オ	ム	19
21	ア	ラ	シ		22	マ	ロ			17
23	リ	ク		24	シ	ン	チ			18

### 【7月号の答え】 ナツマツリダジャ

- 【おめでとう！7月号当選者】
- ・ペンネーム AKB Loveさん (みどり町)
  - ・佐々木ミサエさん (胡桃館)
  - ・ペンネーム けいおんさん (みどり町)
  - ・八木橋キセさん (寺町)
  - ・銀山まつ子さん (みどり町)

**応募方法** ハガキにクロスワードの答え、住所、氏名(未成年の方は保護者名も記入)、年齢と広報に対するご意見やご感想、イラストなどを書き添え、総務課まちづくり班までお送りください。(8月末日まで必着)。正解者の中から抽選で、道の駅つるた鶴の里あるじゃより「お好きなびっくりパン引換券」を5名の方にプレゼントします。



※毎月第1土曜日・午後6時から、駅前通りの成田商店で例会を開いています。皆さまのご入会を歓迎します。  
▽成田昭子 TEL 22-57909

## 広報文芸

### 川柳

(川柳鶴田吟社七月吟行会より)

- 揺れている野心は見せぬ蜘蛛の糸  
奈良 二郎
- B級の客に勧める発泡酒  
工藤りん子
- 顔知って名前出てこぬ年のせい  
竹浪むさし
- 夕焼けて駆ける子馬を影が追う  
笹森松三
- 修行僧座禪の行で船を漕ぐ  
寺田与作
- 田植え終え青い苗立ち風邪にゆれ  
成田あき子
- 谷底で和む仲間と言う笑顔  
佐藤倫生
- 立ち止まる花に見惚れた名無し草  
菊地志樹
- 名人の域に達して彩を研ぐ  
工藤まさひろ

### 短歌

- 週二回デイサービスの介護受くる  
吾の贅沢このひと時が  
藤田トシエ
- 林檎をば銀杏切りにしバナナ輪切り  
みかんと味付けサラダ作りぬ  
清水宏子
- 舞橋の青葉若葉のそよる吹く風美しく  
たくぐれむとす  
柿崎三雄
- 植えたてのトマト畑の鳥どもに妻は無言で鎌振れば飛ぶ  
田村半三
- 「兵隊さん頑張つて」と空襲下水掛  
けくれし東京の婦人  
増田勝美
- 鉢植えのチューリップの花新聞の配達先の玄関に咲く  
葛西智恵
- 春陽射し庭の落葉を剥ぎおれば寝ぼけ  
眼の蛙っこめく  
棟方文雄
- 授粉終えスイカの食べごろ逆算し  
飽きず眺むる朝な夕なに  
佐々木りえ
- 声するも声帯は無く聞き取れず友は白紙に用件を書く  
伊藤惣一郎
- すぐられしりんごの効果のころころと  
捻挫の足をなやましてをり  
澤田清作
- 山菜の大好きな夫に今年もまた小さな器に山盛り供う  
柴田節子